財團法人 協調會福岡出張所

を承認さしてしまつたのである思ふに勞働爭議は使用者と被使用者との雇傭條件に關する意見の相違より來る勞働者の最後の手段であつて實に生死を賭しての爭ひであり一度敗北せんか職は奪はれ一般使用首からは色眼鏡を以て見られその爲今後の生活はドン底の痛苦をなめなければならないであらう事は現在牛馬の如き酷使に呻吟しつつも尙爭議に迄進み得ず極惡條件に默々として大多數の勞働者が働きつつある事がこれを證明してあまりあるではないか然るに斯く迄の決意の下に決行された爭議の解決條件が會社と勞働者との間に於ては何等協議されず强制的に署へ引出された上しかも指導者としての組合幹部との連絡を斷切つて署の意見通りに無條件で解決されたと言ふ事は如何考究するとも東鄉署長及び保安課長が舞鶴バス社長岩崎鶴龜の走狗